



- 令和6年度の開二中のスローガンは、「開二魂の復興～それから～」です。
- そして、合言葉は、「共感・感謝・敬意」です。

校長 牧野 英一

1 合言葉 「共感・感謝・敬意」

いよいよ、開進第二中学校二大学校行事の1つである「運動会」に向けた練習が本格的に始まります。令和6年度のスローガンである「開二魂の復興～それから～」に向け、1年生、2年生、3年生が力を合わせて、一瞬一瞬の出来事に思いや願いを込めて一人一人の全力で取り組みましょう。

この中には、運動が得意な人、余り得意でない人、得意ともそうでないとも言えない人がいると思います。運動会で優勝したいという気持ちが大きくなり、運動の得意な人が、余り得意でない人を責めても何も生まれません。みんな違うからこそ、おもしろいのだと思いませんか。開進第二中学校の約450名の生徒全員と先生が同じことを考えていたら、逆におもしろくないと思いませんか。

運動の得意な人は、余り得意でない人の気持ちを想像して大切にしてください。運動が余り得意でない人は、得意な人の気持ちを想像して大切にしてください。得意ともそうでないとも言えない人は、両者の気持ちが少しずつ分かるかもしれません。声かけや拍手に思いや願いを込めて、仲間を大切にしてください。

多様性を受け入れ「共感・感謝・敬意」の気持ちを「声かけと拍手」で生徒同士、そして、先生と伝え合ひましょう。相手を選ばず全ての人に温かい声かけをしてください。

声かけや拍手には、不思議な力があります。一人一人の思いや願いを言葉にして、自分ならではの温かい声かけを開発してください。

例えば、共感を表現する言葉は、「そうだね。ドンマイ。」感謝を表現する言葉は、「ありがとう。元気が出た。」敬意を表現する言葉は、「さすが。最高。」などがありますが、全校生徒で450種類の言葉を開発することができ、「開二魂の復興～それから～」に向けた確実な歩みになります。

2 目的を明確にして集団としての意識を高める。

これから、運動会の練習を進めるに当たり、特に最上級生である3年生に大いに期待しています。5月8日から実施した修学旅行では、3年生という集団としての意識を高めるということがありました。今後は、3年生が先手必勝の意識で開進第二中学校としての意識を高めてほしいと思います。

そのためには、集団で集まった際に「今、何のために集まっているのか。」目的を明確にすることです。一人一人が「今、何のために集まっているのか。」目的を理解していれば、おしゃべりをしたり、無駄な時間を過したりすることもなくなると思います。

そして、全体としてとても大切なことがあります。それは、他の学年が練習している際の説明や動きをよく見るということです。他の学年の練習をよく見て、モデルにすれば、自分の学年の練習時間を短縮することができます。貴重な練習時間を無駄にしないで、自ら考えたり、試行錯誤したり、仲間と協力したりしてください。

そして、たとえ優勝ができなくても、大きな達成感を得るような経験をしてほしいと思います。その結果、運動会が終了した後に、言葉では表現できないような「一体感」を実感することができるかもしれません。